

平成 26 年 10 月 1 日

報道関係各位

東京建物株式会社



2014 年度グッドデザイン賞 3 部門受賞

「中野セントラルパーク」(都市づくり、地域づくり、コミュニティづくり部門)

「東京スクエアガーデン」(産業用の空間・建築・施設部門)

「家具転倒防止器具・スーパータックフィット MNT」

(ビジネスモデル・ビジネスメソッド部門)

東京建物株式会社(本社：東京都中央区、社長：佐久間 一)は、2014 年度グッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を次の 3 プロジェクトにて受賞しましたのでお知らせいたします。

1. **中野セントラルパーク(東京都中野区)**：都市づくり、地域づくり、コミュニティづくり部門
オフィスビルの公開空地をオフィスワーカー、学生、地元住民や産業の交流の場として活用
2. **東京スクエアガーデン(東京都中央区)**：産業用の空間・建築・施設部門
銀座と日本橋を結ぶ京橋地区に人の動きをつなぐ空間と周辺には無い緑・ゆとりのある空間を創出
※本件は当社、清水建設株式会社、大成建設株式会社、株式会社日建設計との 4 社合同受賞です。
3. **家具転倒防止器具・スーパータックフィット MNT**：ビジネスモデル・ビジネスメソッド部門
家具転倒防止器具の一般家庭での普及を目指し、様々な場所・家具に対応可能で、誰にでも取り付けやすい商品を開発
※本件は当社、三菱地所レジデンス株式会社、野村不動産株式会社の 3 社合同受賞です。



中野セントラルパーク



東京スクエアガーデン

【参考資料】プロジェクトの概要

1. 中野セントラルパーク（都市づくり、地域づくり、コミュニティづくり部門受賞）

中野セントラルパークでは、オフィスビルと公開空地を隣接大学や公園と一体的に整備開発し、公開空地をオフィスワーカー、学生、地元住民や産業の交流の場として活用しています。

オフィスビル管理運営者が積極的に、街や学生が持つ既存の文化や活力等を取り込み、公開空地にてイベントやコミュニティづくり等を行うことで、地域や街とオフィスビルを繋げ、人、大学、街および企業等の知識創造や持続継続的なエリアの活性化に繋がっています。

審査員の評価コメント：

産官学民が参加し、駅前地区に誕生した、オフィスビル、大学、行政、商業地区に囲まれそれらが相互に連動した新しい公共空間である。公園を中心にオフィスや大学の公開空地を一体的に整備した空間を上手く利用し、地元住民や大学生、企業ワーカーがそれぞれが相互に連携交流する仕組みを積極的に作り出している。それはこの地域の独自の文化、都市のブランドの創出を期待させる。

概要	イースト(東棟)	サウス(南棟)	レジデンス(住宅棟)
所在	東京都中野区中野4丁目10番1号他		
敷地面積	6,045 m ²	23,835 m ²	937 m ²
構造規模	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造 地上10階地下2階 免震構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造 地上22階地下1階 制震構造	鉄筋コンクリート造 地上5階
延床面積	39,025 m ²	151,523 m ²	1,748 m ²
高さ	50.6m	99.95m	19.22m
用途	オフィス、店舗、駐車場	オフィス、店舗、駐車場 集会場(ホール)	賃貸住宅17戸
事業主体	中野駅前開発特定目的会社		
設計施工	戸田建設株式会社	鹿島建設株式会社	
プロジェクトマネジメント	東京建物株式会社		
竣工	2012(平成24)年3月	2012(平成24)年5月	



中野マルシェ



中野夏祭り

2. 東京スクエアガーデン （産業用の空間・建築・施設部門受賞）

本プロジェクトは銀座と日本橋の2つの賑わいエリアを結ぶ京橋エリアに位置しており、人の動きをつなぐ空間と周辺地域にはない緑豊かなゆとりのある空間をつくることに取り組みました。

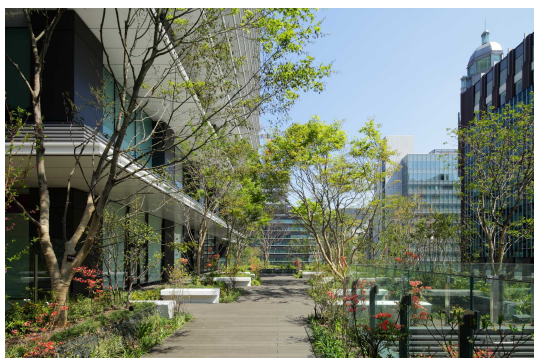
高層階の特徴は、約1.8mの底を天井との連続的で設けることにより、ガラスの超高層のイメージから離れた奥深い趣を演出するとともに、建物内部への日射遮蔽効果を持たせています。また、銀座線直結の地下駅前広場から地上5階までの低層部を、立体的な緑で構成された約3,000㎡の緑化空間「京橋の丘」を形成し、ビル利用者・来街者が四季を感じることもできる憩いの場を提供しています。

また、本プロジェクトは「省CO2モデルビル」をテーマとして、省CO2技術の導入、周辺地域のCO2削減等に取り組む「京橋環境ステーション」の設置、前述の「京橋の丘」を整備することで、多面的な環境対策および都市再生への貢献に取り組んでいます。

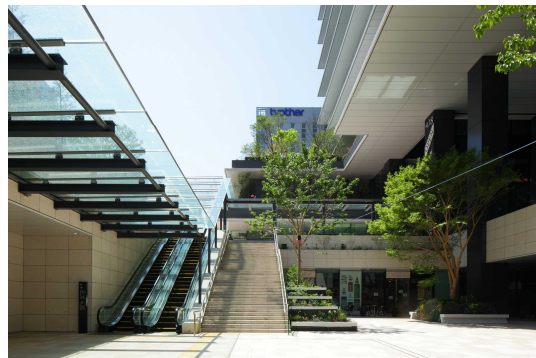
審査員の評価コメント：

都心に建つオフィスを中心とした複合施設である。上層階には1.8mの大きな底を回したファサードは、一般的なガラスオフィスのイメージから脱却した意匠であり新鮮である。建物全体が大通りからセットバックしており、また低層部には緑を積極的に配しており、内部空間を豊かにするだけでなく、息が詰まるような既存の都市空間へ大きく貢献していることが高く評価された。

所在	東京都中央区京橋三丁目1番1号（住居表示）
敷地面積	8,131㎡
構造規模	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造 地上24階地下4階 免震構造
容積率	1290%
延床面積	117,460㎡
高さ	124.45m
用途	オフィス、店舗、集会場、医療施設、子育て支援施設、駐車場等
事業主体	京橋開発特定目的会社、第一生命保険株式会社、片倉工業株式会社、清水地所株式会社、京橋三丁目特定目的会社、ジェイアンドエス保険サービス株式会社
都市計画・基本設計・設計監修	日建設計・日本設計委託業務共同企業体
実施設計・監理	清水・大成（仮称）京橋3-1プロジェクト設計監理共同企業体
施工	清水・大成（仮称）京橋3-1プロジェクト新築工事共同企業体
プロジェクトマネジメント	東京建物株式会社
竣工	2013（平成25）年3月



京橋の丘



地下駅前広場

3. 家具転倒防止器具・スーパータックフィットMNT（ビジネスモデル・ビジネスメソッド部門受賞）

「住宅内での安全確保に資することが、住まいの提供者としての責務である」と考えた当社、三菱地所レジデンス株式会社、野村不動産株式会社の住宅デベロッパー3社が、一般家庭における普及を目的として、家具転倒防止器具を共同開発しました。

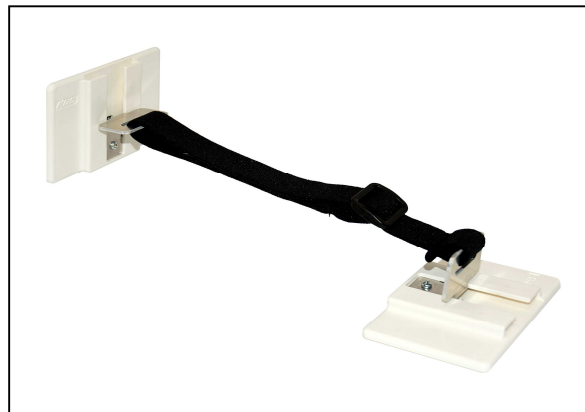
技術メーカーの協力の下、固定が容易な粘着ゲル、長さ調節が可能な耐震バンドを採用し、様々な「人・場所・家具」に対応可能で、誰にでも取り付け易い商品としました。

開発過程では大学の協力を得て実際の地震波を再現した振動実験を約100回に亘り行い、住宅での実用性を高めるための検証を実施しています。

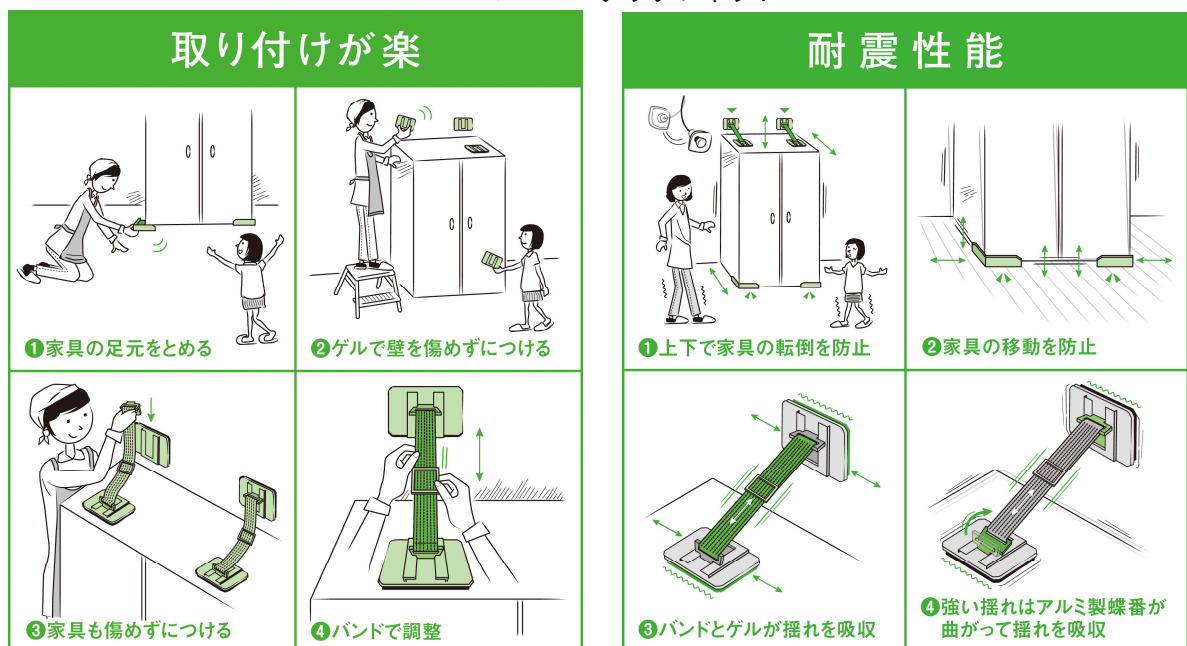
尚、地震波については、第三者評価機関の協力を得て選定しました。また、本器具の導入に関しては、新築マンション購入者への配布等、各社の顧客接点を活用した普及を図っています。

審査員の評価コメント：

地震による負傷者の約半数は家具類の転倒落下等に拠るものであると、東京消防庁は発表している。しかし流通する家具転倒防止器具のうちネジ止め式／ポール式には、使用できる壁の位置や家具の大きさが限られるという問題があった。そこで開発されたのが本対象である。最大の特徴は、器具の固定に粘着ゲルを用いたことだ。これによりあらゆる壁に誰もが簡単に取付けることを可能とした。またゲルと繋がる蝶番と耐震バンドの3つの要素が、それぞれ地震の衝撃を吸収する。これまでの地震に耐える／強度を発揮する方法だけではなく、揺れを「吸収し逃がす」という発想は住宅デベロッパーならではのもので、さらに同業3社の共同開発である点が興味深い。関連会社ではない他社同士が「住戸内減災は住まいの提供者の責務」という共通の意識／目的を持ち、ノウハウを持ち寄ることで従来品を凌駕していくというのは、新たな商品開発の形態を提示している。この発明手法は需要を前提としているため、居住者へ普及するまでのプロセスも明快である。問題提起から解決まで一貫しており、新たなチームワークの商品開発方法として高く評価した。



スーパータックフィットMNT



取り付け方法

耐震性能
以上